

2020 年度

事業報告書

2020 年 4 月 01 日から
2021 年 3 月 31 日まで



公益財団法人 日本科学技術振興財団

目 次

【事業活動】

1. 2020 年度の事業概況	1
2. グラフで見る 2020 年度の事業	3
3. 事業の状況	4
I. [公益目的事業 1] 科学技術館の運営事業	4
II. [公益目的事業 2] 他館の運営管理事業	6
III. [公益目的事業 3] 他館に対する活動支援事業	9
IV. [公益目的事業 4] 科学技術系人材の育成事業	10
V. [公益目的事業 5] 科学技術の普及啓発事業	12
VI. [公益目的事業 6] 科学技術振興に関する調査研究事業、	
VII. [公益目的事業 7] 科学技術の研究開発とその促進事業	12
VIII. [収益事業 1] 情報システムの設計開発と運用サービス事業	13
IX. [収益事業 2] 科学技術館施設の利用促進事業	14

【総合活動】

1. 当財団の組織	14
2. 代表理事及び業務執行理事の業務分担	15
3. 会議の開催	15
4. その他	16

【事業活動】

1. 2020年度の事業概況

I. 【公益目的事業1】 科学技術館の運営事業

1. 入館者状況

新型コロナウイルスの影響により入館者数は約5万1千人、対前年度比89.1%減少。

2. 展示の新設

- (1)4階「建設館」に新展示として「地震免振体験装置」を設置し、2月18日にオープン。
- (2)1階玄関ロビーに、一般財団法人リモート・センシング技術センターによる関東衛星画像フロアマットを11月26日設置。

3. 特別展・イベントの開催

- (1)社会貢献事業に関心の高い企業・団体の協力を得て開催
「生物実験教室」「夢化学-21」「夏休み石炭教室」等。
- (2)共催イベント
「ロボコン“オンライン”ミュージアム」：8月1日～23日、24日、29日（NHKエンタープライズ）
「小学生ロボコン2021全国大会」：12月19日、1月10日（同上）
「小学生ロボコン2021プログラミングロボット競技会」：3月7日（同上）
- (3)特別展
「クジラってどんな生き物？～クジラや魚は大切な水産資源～」：11月19日～11月29日
（主催：公益社団法人日本水産資源保護協会他）
「ガンダムエース展」：1月30日～2月23日（主催：株式会社KADOKAWA）
「自然現象のメカニズム展」3月25日～30日

4. 巡回展示物の制作・貸出し

- (1)「自然現象のメカニズム」をテーマにした15点の巡回展示物を制作。（(公財)日本財団助成事業）
- (2)「スポーツを科学する」「科学捜査展」「科学捜査展 #SEASON2」を全国4か所の科学館に貸し出し、各館のイベントとして開催。

5. サイエンス友の会

科学技術館で実施する工作教室や実験教室、企業などの施設見学会等を計176回開催。
小学3年生以上の正会員と家族会員の延べ1,982人が参加。

6. 実験プログラム開発など

沖縄県内の地域で科学コミュニケーションの裾野を広げるため、児童館などでのイベントの開催や指導員を対象にした講演会、指導方法の研修会などをリモート開催した。

7. 科学技術館ヴァーチャル見学ツアー

「科学技術館ヴァーチャル見学ツアー」を制作し、科学技術館のホームページ上で公開。

II. 【公益目的事業2】 他館の運営管理事業

1. 所沢航空発祥記念館の運営（埼玉県委託事業）

- (1)特別展の開催
アンリ・ファルマン機展示公開記念第二弾として
～所沢飛行場110周年記念特別展 一所澤飛行場 空を拓くものがたり～ 第二章～
『二人の空の開拓者 発明家 日野熊蔵 と 航空人 徳川好敏』開催：3月30日から6月30日
- (2)大型映像館の運営
航空分野を中心に広く来場者の興味を惹く上映コンテンツを選択し11作品を上映。
「空をめざして ～アンリ・ファルマン機と挑戦者たち～」
「天までとどけ」
「ディノグライダー ～鳥は恐竜の子孫なのか～」
「プラネットパワー ～近未来へとはばたく翼～」
「名探偵コナン」「クレヨンしんちゃん」「ノーマン・ザ・スノーマン ～北の国のオーロラ～」
「ジュラシックヒーローズ ～星空の警備隊～」等
- (3)大型映像館上映作品との連動イベント開催
所沢航空発祥記念館オリジナル謎解きゲーム「少年の探し物と思いの飛行機」：8月1日から3月31日
- (4)その他行事等
医療従事者への敬意と感謝を表すため屋外展示機YS-11のブルーライトアップ：7月1日から7月31日

2. 青森県立三沢航空科学館（青森県委託事業）

夏休み期間中に特別展を開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。

III. 【公益目的事業3】 他館に対する活動支援事業

1. プレアデス導入館に関する保守メンテナンス事業

日立シビックセンター「天球劇場」等の保守点検業務を実施。

2. 教育文化施設の展示に関わる企画開発業務

- (1)日立シビックセンター科学館再整備展示工事監修業務を実施。
- (2)（仮称）横浜市水道広報施設整備に係る基本構想業務を実施。

【収益事業1】、【収益事業2】は、公益目的事業実施の基盤となる重要な事業である。

IV. [公益目的事業4] 科学技術系人材の育成事業

1. 青少年のための科学の祭典

科学技術館における全国大会は休止とし、北海道から沖縄まで70会場で予定されていた地方大会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により16大会（うち7大会はオンライン）の開催となった。

2. 国際科学オリンピック

- (1) 日本生物学オリンピック2020：新型コロナウイルス感染拡大の影響により当初の予選、本選は中止し、代わりに一次試験（オンライン）、二次試験を行って参加者1,566人から日本代表4人を決定。
- (2) 第31回国際生物学オリンピック2020長崎大会（IBO2020）：新型コロナウイルス感染拡大の影響によりIBO2020は中止となり、代わりにオンラインにより開催されたIBO Challenge 2020に日本代表4人が参加し、全国53カ国・地域が参加する中で金1、銀3を獲得。

3. その他

- (1) 教員のための理科実験指導育成講座（(公財)東京応化科学技術振興財団助成事業）
新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催回数及び参加者を減らして実施。参加者延べ40人。
- (2) 少年少女創造性育成事業（(公財)市村清新技術財団委託事業）
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、高知県等で予定していたワークショップを中止。
- (3) ボーイングSTEMイベントの開催（ボーイング社助成事業）
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、サイエンスショー、ワークショップを次年度に延期。

V. [公益目的事業5] 科学技術の普及啓発事業

1. 第61回科学技術映像祭（応募は35機関から52作品が出品）

- (1) 内閣総理大臣賞1作品、文部科学大臣賞3作品、部門優秀賞6作品、特別奨励賞1作品、つくば科学万博記念財団理事長賞1作品、新技術振興渡辺記念会理事長賞1作品、科学技術館館長賞1作品の表彰式、発表会を科学技術館で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。
- (2) 入選作品は、全国の12科学館で上映会を開催。

2. 放射線・エネルギー等に関する理解増進活動

- (1) 小・中・高などの学校現場での放射線教育を実施する教師を支援するために、放射線教育支援Webサイト「らでい」を運用し、教育用環境放射線測定器の貸出、放射線出前授業等を実施。
- (2) 「青少年のための科学の祭典」地方大会等にエネルギー・放射線実験ブースを出展。
- (3) 放射線教材コンテストを実施し、応募総数101作品の中から最優秀賞2作品、優秀賞9作品、特別賞5作品を選定し表彰した。
- (4) 放射線等に関する情報発信事業の一環として動画制作、ラジオ番組及びゲームの企画協力を実施。

VII. [収益事業1] 情報システムの設計開発と運用サービス事業

1. 情報システムの設計開発

- (1) データベース技術やネットワーク技術を応用した情報システムの設計開発
(学)産業能率大学、(株)イセトー、(株)電通国際情報サービス、(一財)日本環境衛生センター
(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(株)電力テクノシステムズ、(株)新三容
(株)電力計算センター、(一社)電子情報技術産業協会、(職業訓練法人)日本技能教育開発センター
(株)日本経営データ・センター

2. 情報システムの運用サービス事業

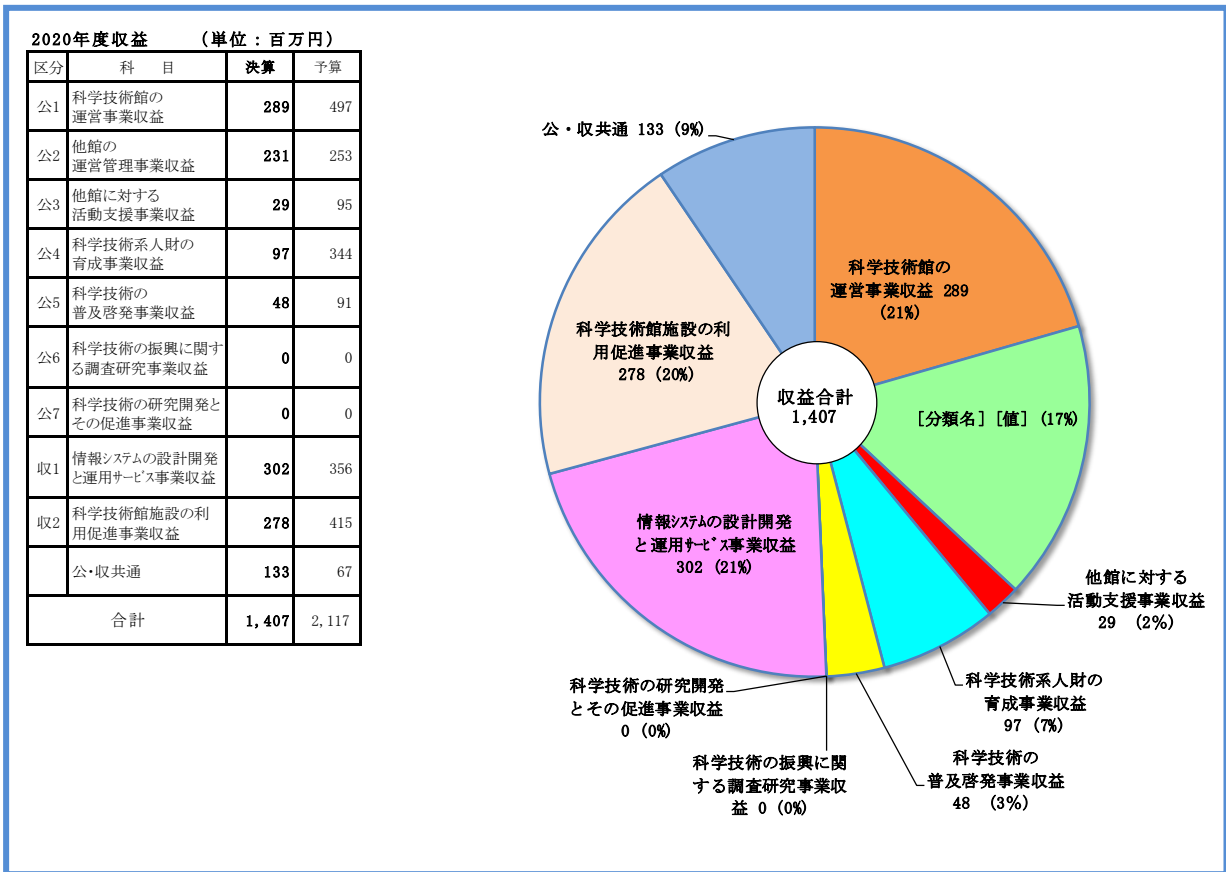
- (1) 通信教育Web受講申込システムの運用業務：(学)産業能率大学
- (2) LMS(Learning Management System)の運用業務：中外製薬(株)、オムロン(株)
- (3) 統計システムのデータ登録・運用業務：(一社)電子情報技術産業協会
- (4) 成績報告サービス：通信教育団体
- (5) 金融系Webシステム運用業務：(株)イセトー
- (6) 精度管理システム運用業務：(一財)日本環境衛生センター

IX. [収益事業2] 科学技術館施設の利用促進事業

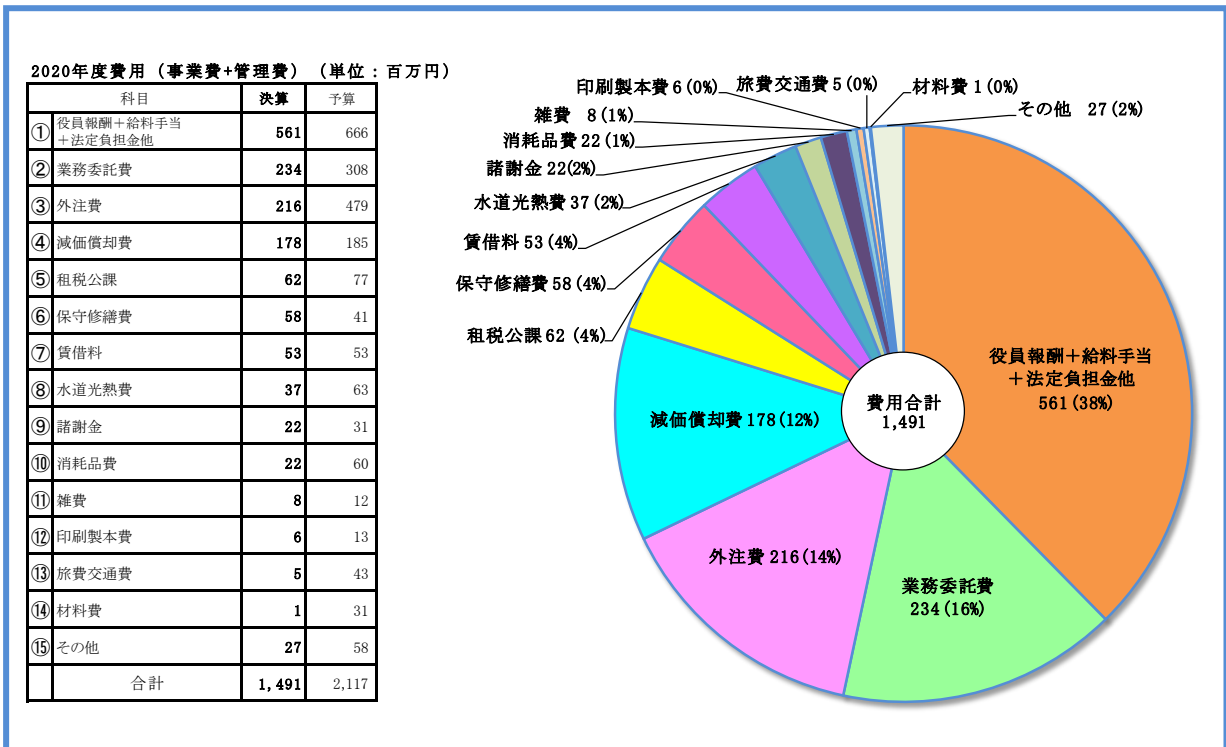
1階展示・イベントホールを、各種販売会、技術展、製品発表会、イベントに、地階サイエンスホールを各種イベント、講演会、セミナー、研修会に、また、会議室の貸出し事業行っている。2月から新型コロナウイルス感染症拡大の影響により施設利用の多くが中止となったが、感染防止対策を徹底し、催事実施と受注を回復をさせてきた。

2. グラフで見る 2020 年度の事業

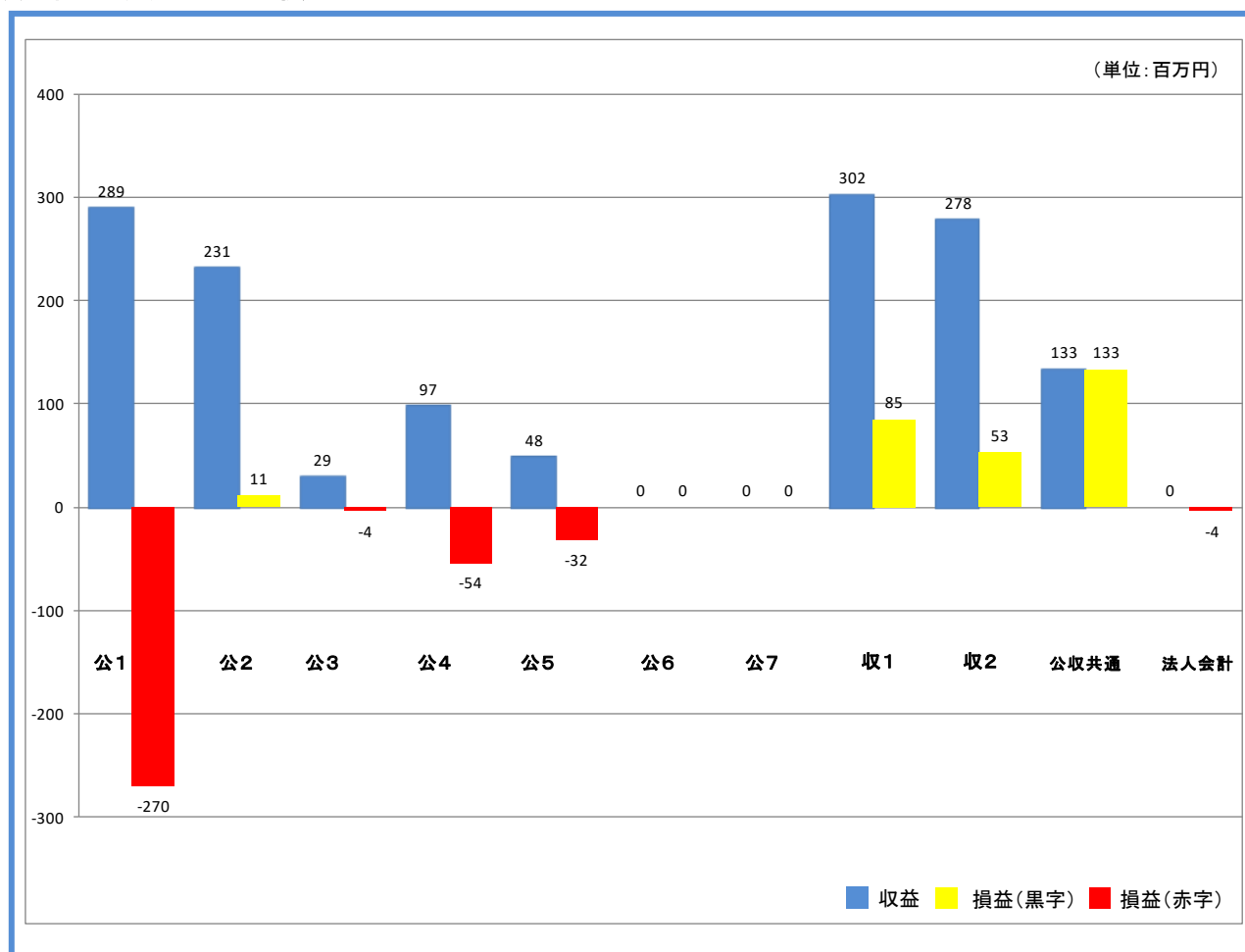
(1) 収益



(2) 費用(事業費+管理費)



(3) 事業区別の収益と損益



3. 事業の状況

I. [公益目的事業1] 科学技術館の運営事業

新型コロナウイルスの流行に伴う非常事態宣言の発出により、科学技術館は6月18日まで臨時休館とし、6月19日から感染防止対策を徹底した上で段階的に開館した。一部の体験型常設展示と実験ショー・ワークショップを休止し、大部分の特別展イベントを中止とした。会員組織「サイエンス友の会」による工作教室・実験教室等については、教室の参加定員数を減らし、感染防止対策を徹底した上で再開した。2020年度末にかけて入館者を増やすべく、休止展示の再開や感染防止対策を反映した実験ショー・ワークショップの開発実施に取り組んだ。

1. 科学技術館の運営

(1) 入館者状況

当年度の入館者数は約5万1千人となり、対前年度比-89.1%と減少した。新型コロナウイルス感染症の影響が原因である。特に4月1日から6月18日まで臨時休館とし、その後も新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、3密を避けるため予約定員を抑えた運営を行った。また、政府の緊急事態宣言発出の影響により、入館者数の大きな割合を占めていた学校団体の予約がほとんどキャンセルになるなど、入館者数は1年を通じて伸び悩んだ。

<入館者状況比較>

	2020年度(人)	2019年度(人)	2020/2019(%)
4月	0	35,917	-100%
5月	0	30,399	-100%
6月	149	34,944	-99.6%
7月	1,432	36,111	-96.0%
8月	3,636	54,116	-93.3%
9月	2,910	27,052	-89.2%
10月	5,798	32,867	-82.4%
11月	8,313	54,210	-84.7%
12月	6,001	56,701	-89.4%
1月	3,906	59,022	-93.4%
2月	7,594	51,197	-85.2%
3月	11,631	345	3371.3%
合計	51,370	472,881	-89.1%

(2) 展示解説および実験演示

約20の常設展示室およびコーナーにおいて、スタッフによる展示解説を行っている。2020年度は新型コロナウイルスの影響で休止し、実験映像を上映していたが、1月から一部の実験ショー・ワークショップを再開した。

(3) 展示室および展示の保守・管理

来館者が安全・快適に見学でき、当館見学の目的をより良く達成することができるよう、常に展示および設備の保守・点検・修理・改善等の整備を実施し、展示空間の環境向上に努めた。新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、展示物および共用設備の定期的な消毒を行った。

(4) 特別展・イベントの開催

①社会貢献事業に関心の高い企業や団体と連携して教室やイベント等を開催

- 1) 一般社団法人センターポール・中外製薬株式会社：「夏休み特別企画C Pアダプティブクラス文化教室☆科学技術館見学・イカの解剖教室」
- 2) 一般財団法人石炭エネルギーセンター：「夏休み石炭教室」
- 3) 「夢・化学-21」委員会：「なぜなに？かがく実験教室」
- 4) 大妻女子大学：「まっぷ-SIR（さあ）探検！」他

②共催イベントの開催

- 1) NHKエンタープライズ：
 - ・ロボコン“オンライン”ミュージアム 8月1日から23日
 - ・小学生ロボコン2021 全国大会
12月19日（オンライン予選会）、1月10日（オンライン全国大会）
 - ・小学生ロボコン2021 プログラミングロボット競技会 3月7日

③特別展の開催

- 1) 「クジラってどんな生き物？～クジラや魚は大切な水産資源～」11月19日から23日・11月27日から29日
主催：公益社団法人日本水産資源保護協会他
- 2) 「ガンダムエース展」1月30日から2月23日
(文化庁委託事業「博物館異分野連携モデル構築事業」)
主催：株式会社 KADOKAWA
- 3) 「自然現象のメカニズム展」3月25日から30日

(5) 展示室の整備

- ①1階玄関ロビーに、一般財団法人リモート・センシング技術センターによる関東衛星画像フロアマットを設置した。(11月)
- ②4階建設館に、地震とそれに対する免震技術の効果が体験できる地震免震体験装置を設置した。

(2月)

③2階ものづくりの部屋に、新展示「ガウスコースター」を設置した。(3月)

(6) サイエンス友の会の活動

電子工作や木工工作などの工作教室や、物理・化学・生物・地学等の様々なテーマで、プログラミングやSDGsを取り入れた実験教室、企業・団体の協力による施設見学会など、各種プログラムを1年間にわたって計176回開催し、正会員(小学4年生以上)と家族会員(正会員の家族)の延べ1,982人が参加した。

(7) 巡回展示物の制作・貸出し

①展示物制作

公益財団法人日本財団の助成を受け、「自然現象のメカニズム」をテーマにした全15点の巡回型展示物を制作した。

②展示物貸出し

「スポーツを科学する」、「科学捜査展」、「科学捜査展 #SEASON2」を全国4か所の科学館に貸し出し、各館のイベントとして開催した。

(8) 実験・工作プログラム開発

館内の実験ショー・ワークショップ「【ろ過】で地球の水について考えよう!」「レモンのチカラ」について、内容を簡略化して時間を短縮するなど、新型コロナウイルス感染予防対策のための改編を行い、館内で実施した。

(9) 子供科学技術人材育成事業

沖縄県内の地域で科学コミュニケーションの裾野を広げるため、児童館や学童施設でのイベント開催や、指導員を対象にした講演会・指導方法の研修会をリモート開催。また、科学工作プログラム「CD螺鈿ボックス」「紙飛行機ワンダー号」を沖縄こどもの国と共同で新規開発し、既存のプログラム「葉脈スタンプカード」「いろいろわりステンドグラス」の内容を指導者向けに改定した。

(10) その他

①科学ライブショー「ユニーバス」オンライン上映

新型コロナ対策で対面でのライブショーが行えない代わりに、ショーの運営を行っている先生及び学生チーム「ちもんず」の協力によりオンライン上映を毎週土曜日に開催した。

②科学技術館ヴァーチャル見学ツアー

株式会社ビーシーシーの協力により「科学技術館ヴァーチャル見学ツアー」を制作し、科学技術館のホームページ上で公開した。

II. [公益目的事業2] 他館の運営管理事業

科学技術館の運営経験を基に、科学館・博物館等の教育文化施設の運営を行うことにより、科学知識・産業技術の普及啓発及び振興に貢献した。

1. 所沢航空発祥記念館の運営 (埼玉県委託事業)

所沢航空記念公園とその一帯は、かつてわが国初の飛行場「所沢飛行場」が1911年に開設され、日本の航空研究のはじまりの場所となった。所沢航空発祥記念館は「日本の航空発祥の地」を記念する施設として、1993年に埼玉県により同公園内に建設された。建設にあたり当財団は、展示構想をはじめ展示設計・施工監理等に係わり、その後27年間運営に携わっている。現在は、公益財団法人埼玉県公園緑地協会、一般社団法人埼玉県造園業協会とともに共同事業体を組織し、埼玉県指定管理者として所沢航空記念公園の運営管理事業にあたり、所沢航空発祥記念館の常設展示館及び大型映像館の運営、特別展・イベントなどの計画・開催などを通じて、航空に係る知識の普及啓発、航空産業及び航空技術への興味関心の喚起振興に繋がる事業を進めている。

2020年は、新型コロナウイルス感染症拡大抑制のため3月2日より臨時休館措置をとり、4月7日からは政府による埼玉県への緊急事態宣言発出を受けて措置を延長し、6月23日まで全館を臨時休館とした。再開館にあたっては、日本博物館協会ならびに埼玉県による新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを遵守したコロナ対応再開館マニュアルを作成し、それに従い入館者への検温、三密を避ける対策、館内滞留者数上限を設けた入館制限、展示等接触部位の消毒等を実施できる運営体制をとり、6月24日より平日のみ再開館した。7月11日からは土日祝も開館とし、この対策を保ったまま運営を継続したが、2020年末に向い感染者数が再拡大したため、埼玉県新型コロナウイルス対策会議により、県有屋内施設の休館ならびに主催・共催イベントの中止または延期が決定されたことを受け、12月24日より3月24日まで再び臨時休館するとともに、新規特別展・イベント等は計画を見直した。

再開館時の運営においては、安心・安全を最優先した行動様式をとりつつも、できる限り博物館としての本来業務の遂行を目指した。また、臨時休館期間中は可能な範囲での展示及び設備等の保守・修繕を進めるとともに、コロナ禍という危機への対応・対策がチームとしての実践的スキルアップに繋がる機会となるようスタッフへの涵養と意識の醸成に努めた。

(1) 展示館の運営

安心・安全を最優先とする運営の基本原則のもと、新型コロナ対応再開館マニュアルに則った対策を施したうえで、入館者の案内・対応などを行い、できるだけ満足度を高めることを心がけた。さらに展示解説・サイン等については、コンテンツの情報更新やデザイン見直しに取組み、臨時休館期間を利用するなどして改善対応を進めた。展示ならびに建物・設備の定期的な点検、保守・管理を適正に行い、経年や老朽化による不具合発生を極力未然に防ぐことができるよう協力会社と情報の交換・共有を行った。また、計画的修繕を要する案件については埼玉県と情報を共有し、併せて修繕要望を提出した。博物館資料の効果的な活用に向けた取り組みとしては、資料の保管環境の見直しとリスト再整備及び棚卸チェックに着手した。

(2) 大型映像館の運営

所沢航空発祥記念館全館の臨時休館にともない、大型映像館も2020年3月2日から6月23日まで運用を休止とした。映像館運用再開は展示館再開ののち経過確認のうえで段階的に進めることとしたことで7月10日からとなった。コロナ対応再開館マニュアルに基づいて、シアター定員約200名のところを約50名に抑え、着席時の社会的距離を保つとともに、換気に留意し、毎回の上映後には座席・肘掛・手摺などの消毒等を行という方法をとった。その後、展示館と同様に12月24日より再び運用休止とした。

一方、年度事業として、1910年に日本初の動力飛行を記録し、その後開設した所沢飛行場に備えられてわが国の航空研究のさきがけとなった、「アンリ・ファルマン機」と、そのパイロットである「徳川好敏」にフォーカスした大型映像館オリジナル作品「Atteindre le ciel 空をめざして ～アンリ・ファルマン機と挑戦者たち～」を新規に制作した。さらに、記念館開館当初に制作されたオリジナル作品である「天までとどけ」をデジタル化したリマスター版とともに、二本立て上映を計画した。しかし、臨時休館により1月から3月の上映ができなくなったことから計画を見直し、年度を跨ぐかたちで3月25日から4月30日までに上映期間を変更した。

①大型映像上映作品

<第1期>

4月から6月は、臨時休館に伴い上映を休止した。

<第2期>

2-1 「ディノグライダー ～鳥は恐竜の子孫なのか?～」

期 間：7月10日～9月30日

2-2 「名探偵コナン ～灼熱の銀河鉄道（ギャラクシーレイルロード）～」

期 間：7月10日～9月30日

2-3 「クレヨンしんちゃん ～星空と学校の七不思議だゾ!～」

期 間：8月10日～8月16日

<第3期>

3-1 「プラネットパワー ～近未来へとはばたく翼～」

期 間：10月1日～12月23日

3-2 「ノーマン・ザ・スノーマン ～北の国のオーロラ～」

期 間：10月1日～12月23日

3-3 「ムーンナイトモンスター」

期 間：10月24、25、31日及び11月1日

<第4期>

4-1-1 「Atteindre le ciel 空をめざして ～アンリ・ファルマン機と挑戦者たち～」

期 間：3月25日から4月30日

※1 新年度まで延長して上映

※2 「天までとどけ」との同時上映

4-1-2 「天までとどけ Reach for the sky」

期 間：3月25日から4月30日

※1 新年度まで延長して上映

※2 「空をめざして」との同時上映

4-2 「ジュラシックヒーローズ ～星空の警備隊～」

期 間：3月25日から4月30日

※1 新年度まで延長して上映

<その他 特別上映>

第61回科学技術映像祭入選作品無料上映会

5-1 「人類 vs プラスチック」

期 間：9月19日から9月22日

5-2 「スペース・スペクタクル プロローグ はやぶさ2の挑戦」

期 間：11月21日から11月23日

②大型映像館連動イベント

所沢航空発祥記念館オリジナル リアル謎解きゲーム「少年の探し物と思いの飛行機」

期 間：8月1日から3月31日 ※臨時休館中は休止

(3) 特別展・イベントの開催

2020年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、長期間の臨時休館と制約のもとでの館運営となった。そのため、観覧を目的とした来館者増に繋がることを避ける方針を選択し、新たな特別展開催は見合わせた。だが準備としては、埼玉県が航空自衛隊より貸与を受けている日本初の動力飛行を記録したアンリ・ファルマン機に関連するテーマによる企画第二弾を進めた。同じテーマにより2019年夏から2020年春まで開催した「所沢飛行場 空を拓くものがたり 第一章」では、徳川好敏とアンリ・ファルマンを中心に構成したことから、つづく「第二章」では、もう一人の空の開拓者である日野熊蔵、そして同時代のドイツの発明家であり飛行家でもあるハンス・グラードを取り上げ、この二人の足跡にもとづく展示を加えて構成し、再開館を待って3月30日に開始した。

特別展会期：3月30日から6月30日（予定）

(4) 連携活動

①自治体・団体等との連携

埼玉県及び所沢市、その他ステークホルダーとの情報交換及び情報共有は、滞ることのないよう実施した。しかし、例年開催されていた航空記念公園を利用する地元団体等の主催するイベント等は、中止または延期となった。

例外として、医療従事者への敬意と感謝を表すことを目的に、所沢市の関係団体ならびに埼玉県公園緑地協会との共催により、西武新宿線航空公園駅前に設置している記念館が所蔵する屋外展示機YS-11の夜間ブルーライトアップを実施した。

期 間：7月1日から7月31日

②博物館連携組織及び博物館等との連携

埼玉県博物館連絡協議会、全国科学博物館協議会、全国科学館連携協議会、日本ジャイアントスクリーン協会に引き続き加盟し、連携活動に資する情報交換を行うとともに、ウェビナー等に参加してスタッフの研修機会とした。

(5) 広報活動

2020年度の広報活動としては、コロナ対応に関連した館の運営情報を来館者に発信する方法として、ホームページによるご案内に注力した。そのほか、県政・市政記者クラブを通じたプレスリリースによる発信と取材等への対応を基本として、集客を目的とする広報活動は控えた。

(6) 普及啓発活動

所沢航空発祥記念館全体の臨時休館にともない、年度当初より計画していた普及啓発活動の多く

を休止または延期とした。

①飛行機工作教室

「飛行機工作教室」は、参加対象者が開催の都度募集をする不特定であることと、講師に高齢な方が多いことから、コロナ対応再開館マニュアルに則った運営であっても、十分なリスク低減が困難であると判断し開催を見合わせた。

②キッズ・チャレンジ倶楽部

小学生対象の会員制である「キッズ・チャレンジ倶楽部」については、コロナ禍による臨時休館中には活動休止措置をとらざるを得なかった。再開館した期間には、コロナ対応マニュアルに基づく対策を施すとともに、教室あたりの開催時間の短縮や定員を抑え活動を再開した。

<キッズ・チャレンジ倶楽部>

開催教室数： 18テーマ 29教室 延べ参加人数： 406人

③ワークショップコーナー

当館展示館内のワークショップは、限られた空間の中で来館者と対面形式での教室進行や道具などの共同利用を伴った実施となるため運用を休止した。

(10) ミュージアムショップ・レストランの運営

①ミュージアムショップの運営

ミュージアムショップ店内は床面積が限られており、社会的距離を確保することが難しいことから、商品数を絞ったうえで店内ではなく、より広い空間である店舗前のエントランスロビーに商品棚を展開することで、新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを遵守した運営とした。

②レストランの運営

レストランにおける飲食の提供は慎重に進めた。原則的にテイクアウトのみとしたが、12月末からは、お客様の入店を伴わない形態として、レストラン前の屋外テラスにおいてキッチンカーを利用することで、新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに沿う運営とした。

(11) 入館者状況

2020年度の入館者数、前年度との比較

	入館者数	うち大型映像館
2020年度	62,836人	11,424人
2019年度	175,883人	36,515人
前年度比	-64.3%	-68.7%

※ 4月1日から6月23日、12月24日から3月24日は臨時休館。

また、大型映像館は、4月1日から7月9日、12月24日から3月24日まで運用休止。

2. 青森県立三沢航空科学館の運営（青森県委託事業）

(1) 展示物の点検・補修・改善

展示物の異常や故障などを未然に防ぎ、正常な稼働と安全運転を確保するため、展示物の保守点検を年3回実施した。

(2) イベントの開催等

夏休み期間中に特別展を三沢航空科学館で開催する計画であったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止となった。

Ⅲ. [公益目的事業3] 他館に対する活動支援事業

科学技術館の運営経験を基に、科学館、博物館等の教育文化施設に対して、それら施設の新規設置や更新、あるいは新たな「活動づくり」にあたってのコンセプト作りなどの支援を総合的に行った。

1. プレアデス導入館に関する保守メンテナンス事業

以下の施設における保守メンテナンス事業を完了した。

- (1) 日立シビックセンター「天球劇場」保守点検業務（公益財団法人日立文化情報財団委託事業）
- (2) 岡三証券神楽洞夢保守点検業務（株式会社岡三証券グループ委託事業）
- (3) サイエンスヒルズこまつ3Dスタジオ保守点検業務（小松市委託事業）

2. 教育文化施設の展示に関わる企画開発業務

以下の施設における企画開発業務を行った。

- (1) 日立シビックセンター科学館再整備工事展示監修業務（株式会社丹青社委託事業）
- (2) (仮称) 横浜市水道広報施設整備に係る基本構想業務(株式会社乃村工藝社委託事業)

IV. [公益目的事業4] 科学技術系人材の育成事業

科学技術体験イベント、国際科学オリンピックなど、科学技術への興味関心を引き起こすレベルから専門家をめざすレベルまで、広範な活動を通して科学技術系人材の育成事業を実施している。2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、一部の事業は、オンライン開催や参加人数の制限など感染拡大防止対策を徹底して実施したものの、予定していた多くの事業は中止や延期となった。

1. 科学技術体験イベントの開催

(1) 青少年のための科学の祭典

青少年のための科学の祭典は、当財団の提唱により1992年に開始され、草の根的な理科実験のイベントとして28年の歴史を数え、全国各地で展開されている。2020年度は、科学技術館における全国大会は休止とし、全国各地で開催される自主大会も、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から多くの大会が中止となり、16大会の開催となった。

①青少年のための科学の祭典 全国大会

2020年度は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（東京2020大会）の開催による、全国各地から集まる出展者と多くの来場者への影響、また会場準備が困難なことなどを総合的に検討した結果、青少年のための科学の祭典全国大会を休止とし、2021年度の再開に向けた検討を行った。

②青少年のための科学の祭典 地方大会

自主大会として北海道から沖縄まで70大会の開催が予定されていたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から16大会（うち7大会はオンライン）の開催となり、参加者数は4,299人となった。

(2) 少年少女創造性育成事業（公益財団法人市村清新技術財団委託事業）

第51回市村アイデア賞の入選作品の展示を11月20日から12月6日に科学技術館で行った。一方、11月20日に予定していた表彰式は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止した。

また、小中学生を対象に複写機を題材としてその原理と分解を行う「キッズ・フロンティア・ワークショップ」を、12月19日、20日に高知市文化プラザかるぼと（高知県高知市）で、2021年3月13日、14日に科学技術館で開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からいずれも中止した。

(3) ボーイングSTEMイベントの開催（ボーイング社助成事業）

小中学生を対象に、科学、技術、工学、数学の各分野を横断的に学ぶことができるSTEM (Science, Technology, Engineering and Mathematics) プログラムのサイエンスショー・ワークショップをシ

アトル航空博物館の協力を得て 11 月に実施する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から 2021 年度に延期した。

また、「科学技術館 航空宇宙 STEM ワークショップ ～飛べ！跳べ！翔べ！～」を 2021 年 2 月 20 日に開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が延長されたことから、夏以降に延期した。

2. 科学オリンピック国内大会・国際大会（国立研究開発法人科学技術振興機構支援事業）

(1) 日本生物学オリンピック 2020 の開催、第 31 回国際生物学オリンピックへの日本代表派遣

①日本生物学オリンピック 2020 の開催

参加申込の受付を 4 月 1 日から開始したが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、当初予定していた 7 月 19 日の予選、8 月 20 日から 23 日の広島大学における本選を中止した。代わりに、日本生物学オリンピック 2020 代替試験として、11 月 1 日にオンライン試験による一次試験を行い、12 月 20 日に自校開催等の協力を求めて全国 19 会場で二次試験を行った。2021 年 3 月 20 日、21 日に予定していた最終選考は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により緊急事態宣言が延長されたことから中止とし、二次試験の結果をもとに日本代表 4 名及び次点者 2 名を決定した。

9 月 1 日～9 月 30 日	参加申込受付
11 月 1 日	一次試験（オンライン試験）（受験者 1,566 名）
12 月 20 日	二次試験を全国 19 会場で開催（一次試験上位者 120 名）

②第 31 回国際生物学オリンピックへの日本代表派遣

第 31 回国際生物学オリンピック 2020 長崎大会（IBO2020）の事務局の一部を担っている。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、7 月に長崎で開催予定であった IBO2020 が中止となり、代わりに、オンラインによる国際生物学オリンピック 2020 リモート大会（IBO Challenge 2020）が開催された。8 月 11 日に実験試験、12 日に理論試験が行われ（53 カ国・地域から 202 名が参加）、8 月 13 日から 10 月 31 日に国際交流の場としてオンラインで議論を交わす「国際グループプロジェクト（IGP）」が実施された。

(2) 第31回国際生物学オリンピックの開催

第 31 回国際生物学オリンピック 2020 長崎大会（IBO2020）の事務局の一部を担っている。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、7 月に長崎で開催予定であった IBO2020 が中止となり、代わりに、オンラインによる国際生物学オリンピック 2020 リモート大会（IBO Challenge 2020）が開催された。8 月 11 日に実験試験、12 日に理論試験が行われ（53 カ国・地域から 202 名が参加）、8 月 13 日から 10 月 31 日に国際交流の場としてオンラインで議論を交わす「国際グループプロジェクト（IGP）」が実施された。

3. 教員のための理科実験指導育成講座開催（公益財団法人東京応化科学技術振興財団助成事業）

学校における教員の理科指導力の向上を目指して、ベテラン教師が実践的な理科実験の極意を伝授し、授業や社会教育活動にすぐに役立つ実践的理科実験の講習会を科学技術館の実験工房で開催した。8 月と 11 月の 2 回開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から 8 月の開催は中止とし、11 月に通常よりも参加人数を減らして開催した。

11 月 22 日(日)	10:30～12:15	<生物分野> 「様々な花の構造、花式と花式図を作る」(10 名)
	13:30～15:15	<化学分野> 「酸・アルカリの性質を理解する興味深い実験」(10 名)
11 月 23 日(月・祝)	10:30～12:15	<地学分野> 「マグマの粘性・噴火の様式」(10 名)
	13:30～15:15	<物理分野> 「音の性質」(10 名)

V. [公益目的事業5] 科学技術の普及啓発事業

科学技術映像祭、放射線・エネルギー等に関する理解増進活動等、科学技術の普及啓発事業を実施しているが、2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、一部の事業は中止となった。

1. 科学技術映像祭

(1) 第61回科学技術映像祭

①「自然・暮らし部門」「研究技術開発部門」「教育・教養部門」の3部門に、35機関から52作品が出品され、内閣総理大臣賞に「人類 vs プラスチック」（企画・製作：RKB毎日放送株式会社）、文部科学大臣賞3作品、部門優秀賞6作品、特別奨励賞1作品、つくば科学万博記念財団理事賞1作品、新技術振興渡辺記念会理事長賞1作品、科学技術館館長賞1作品を決定し、3月19日にプレスリリースを実施した。

②入選作品発表会を4月16日、17日に、表彰式・受賞作品トークセッションを4月17日に科学技術館で開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止とした。入選作品は、全国の科学館(12館)において上映会を行った（上映会観覧者数75,916人（12月31日現在））。

(2) 第62回科学技術映像祭

12月1日から2021年1月25日に参加作品の募集を行い、34機関から65作品が出品され、内閣総理大臣賞をはじめとする入選作品12作品（ダブル受賞を含む。）を決定した。

2. 放射線・エネルギー等に関する理解増進活動

(1) 情報提供事業、出前授業の実施

小・中・高などの学校現場での放射線教育を実施する教師を支援するために、各種情報を提供する放射線教育支援Webサイト「らでい」を運用している。教育用環境放射線測定器の貸出、放射線出前授業を実施するとともに、小・中・高の教員等を対象として放射線授業事例コンテストを実施し、最優秀賞1作品、優秀賞1作品、入選11作品を選定した。

(2) エネルギー放射線教室の開催

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から「青少年のための科学の祭典」地方大会の多くが中止や延期となる中、オンライン開催を含めて実施された地方大会や各地の科学館等においてエネルギー・放射線実験ブースの出展を行った。

(3) 放射線教材コンテストの実施

大学生等を対象とした放射線教材コンテストを実施し、応募総数101作品の中から最優秀賞2作品、優秀賞9作品、特別賞5作品を選定し、表彰した。発表会及び表彰式を12月27日に科学技術館にて開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、オンライン発表会として開催した。

(4) 放射線等に関する情報発信

放射線等に関する情報発信事業の一部として動画制作、ラジオ番組及びゲームの企画協力を受注し、実施した。

VI. [公益目的事業6] 科学技術振興に関する調査研究事業

VII. [公益目的事業7] 科学技術の研究開発とその促進事業

広報活動としては、広報誌「JSF Today」、科学技術館メールマガジン、Twitter等による情報発信を行った。

1. 広報活動

広報活動として、プレスリリースの配信、広報誌「JSF TODAY」、科学技術館メールマガジン等の発行を行った。

(1) プレスリリース

11月「科学技術館 バーチャル見学ツアー」を公開

2月 新展示「地震免振体験装置」オープン

3月「第62回科学技術映像祭」入選作品の決定および入選作品発表会・表彰状授与式について

(2) 財団広報誌「JSF TODAY」の発行

No. 156-157「財団設設立60周年」(7月発行)

No. 158-159「未来世代に『生きる力』を」(1月発行)

発行部数 各1,000部

(3) 「科学技術館 メールマガジン」の発行

773号(4月1日)から785号(3月17日) 配信数11,114通(3月17日現在)

(4) twitterによる情報発信

フォロワー数3,510人(3月29日現在)

VIII. [収益事業1] 情報システムの設計開発と運用サービス事業

データベース技術、ネットワーク技術、解析・シミュレーション技術、インターネット技術などを基に、官公庁及び関連機関をはじめとして、民間企業や通信教育団体等から、情報システムの設計開発業務や運用サービス業務を受託して実施した。この事業は、当財団の収益事業として財政基盤を支えることをめざしている。実施した主な業務は次のとおりである。

1. 情報システムの設計開発

(1) 学校法人産業能率大学

学生通教Webシステム改修、修了証ダウンロード改修、CSLナビWeb版(クレジット対応)、債権管理システム及び利益管理システムWindows2016Server切替えに伴う作業

(2) 株式会社イセト

ツール申込改修、日本生命Webアンケートシステム改修、GIMMS AdobeFlashPlayer終了に伴う改修、MUTB様向け商品ガイドブック作成システムおよびモニタリングレポート作成システム改修

(3) 株式会社電通国際情報サービス

本田和光研究所様向け 全部品リスト再構築

(4) 一般財団法人日本環境衛生センター

令和2年度環境測定分析統一精度管理調査 分析結果報告データの収集等業務

(5) 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

資産管理システム

(6) 株式会社電力テクノシステムズ

システム開発

(7) 一般社団法人電子情報技術産業協会

ソリューションサービス市場の状況調査の集計処理業務、JEITA センサ・グローバル状況調査の集計処理業務

(8) 株式会社電力計算センター

高圧配電線雷事故率計算プログラムの改良

(9) 職業訓練法人日本技能教育開発センター

自動添削システム機能改修

(10) 株式会社日本経営データ・センター

(11) 株式会社新三容

「売上データ管理システム」の機能改修

2. 情報システムの運用サービス

(1) 学校法人産業能率大学

通信教育 Web 受講申込システムの運用
 受講管理システム運用
 標準システム運用

(2) 中外製薬株式会社、オムロン株式会社

LMS (Learning Management System) の運用業務

(3) 一般社団法人電子情報技術産業協会

統計システムのデータ登録・運用業務

(4) 通信教育団体

成績報告支援サービス

(5) 株式会社イセトー

金融系 Web システム運用業務

(6) 一般財団法人日本環境衛生センター

精度管理システム運用

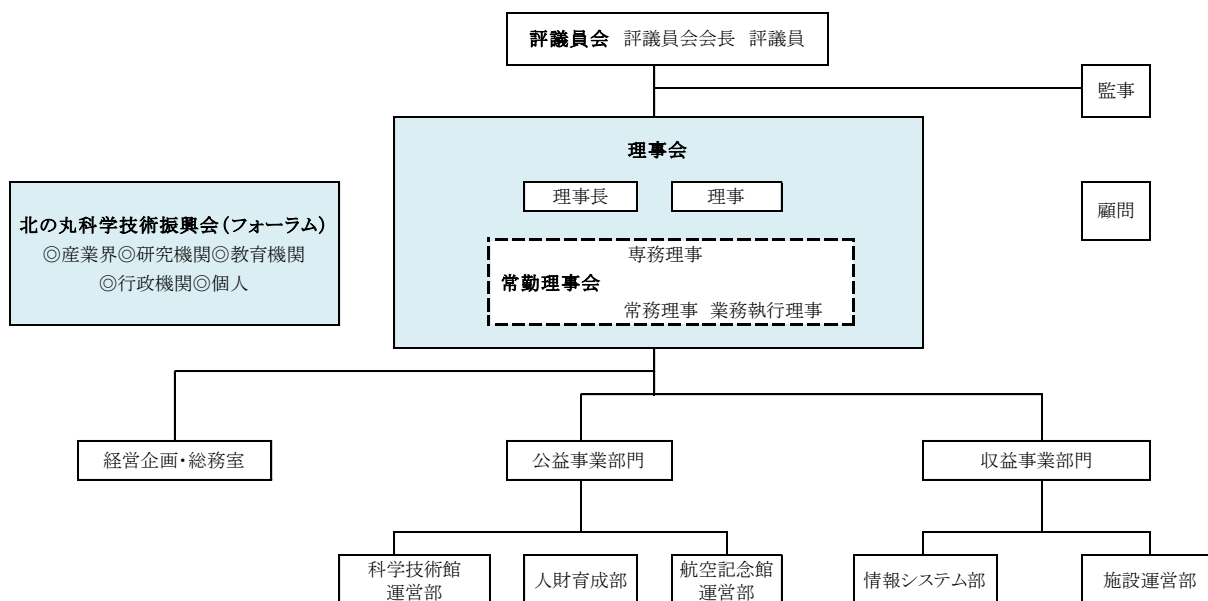
IX. [収益事業 2] 科学技術館施設の利用促進事業

当財団では、科学技術館の施設の一部を貸し出している。1 階の展示・イベントホールは、各種の販売会、技術展、製品発表会、イベント等、地階のサイエンスホールは、土日はアニメ等の各種イベント、平日は講演会、セミナー、研修会等に貸し出している。また、5 階、6 階の会議室も貸し出している。この事業は、収益事業として経営しており、公益目的事業の継続実施の要となる重要な事業である。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、三施設とも多くのキャンセル案件を抱えたが、得意先を中心に各施設の顧客ニーズを把握し、満足度を向上させる取組みを行うことにより、継続的にご利用頂けるように活動した。

【総合活動】

1. 当財団の組織 (2020年3月31日現在)



2. 代表理事及び業務執行理事の業務分担 (2021年3月31日現在)

氏名	業務執行理事	役職	業務分担
榊原 定征	代表理事	理事長	法人代表
吉田 忍	代表理事	専務理事	財団経営全般 航空記念館運営部担当(兼)、 所沢航空発祥記念館館長
新元 一弘	業務執行理事	常務理事	財団経営全般(専務理事補佐) 情報システム部担当(兼) 建設工事の請負に係る業務担当(兼)
若林 光次	業務執行理事	理事	人財育成部担当(兼) 人財育成部部长(兼)
榊水 久恒	業務執行理事	理事	経営企画・総務室担当(兼) 経営企画・総務室室長(兼) 施設運営部担当(兼)
湯浅 孝	業務執行理事	理事	科学技術館運営部担当(兼) 科学技術館運営部部长(兼)

3. 会議の開催

(1) 定時評議員会及び臨時評議員会の開催

- ①第10回定時評議員会 2020年6月26日
議案1. 2019年度の決算書類の承認の件
議案2. 評議員選任の件
議案3. 理事選任の件

- ②第11回臨時評議員会 2021年3月16日
決議事項なし

- ③第3回書面評議員会 2020年11月30日
議案1. 評議員選任の件
議案2. 理事選任の件

○上記の評議員会に付議された議案は、いずれも承認可決されました。

(2) 通常理事会、臨時理事会及び書面理事会の開催

- ①第17回書面理事会 2020年6月10日
議案1. 2019年度の事業報告及び決算書類の承認の件
議案2. 定時評議員会の招集の件
議案3. 理事会提案として評議員会に提案する評議員候補者の決定の件
議案4. 理事会提案として評議員会に提案する理事候補者の決定の件
議案5. 非常時の資金調達に関する件
議案6. 2020年度補助・助成事業実施に関する件

- ②第10回臨時理事会 2020年6月26日
議案1. 公益事業の区分の変更の件
議案2. 募集特定寄附金の残額の使途の件

- ③第18回書面理事会 2020年11月20日
議案1. 理事会提案として評議員会に提案する評議員候補者の件

議案 2. 理事会提案として評議員会に提案する理事候補者の件

④第 19 回書面理事会 2021 年 2 月 24 日

議案 1. 重要な使用人の選任について

議案 2. 臨時評議員会の招集について

⑤第 18 回通常理事会 2021 年 3 月 16 日

議案 1. 2021 年度事業計画及び予算書等の承認の件

議案 2. 特定費用準備資金等の保有に関する一部計画の変更の件

○上記の理事会(書面理事会を含む)に付議された議案は、いずれも承認可決されました。

(4) 常勤理事会の開催

定款第 41 条第 2 項及び常勤理事会運営規則に基づいて、毎月 2 回(原則)、常勤の理事 5 名による常勤理事会を開催して、理事会決定による事業計画に従い、重要事項の審議、決定を行い、また各事業の報告により情報の共有を図っている。会議の資料及び結果については、電子メールにより、理事及び監事の全員に送付している。

4. その他

- (1) 経営課題の推進
- (2) 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けての対応
- (3) 事業予算および要員予算編成方針の策定
- (4) 新型コロナウイルス感染症による各種給付金、助成金、支援金の申請
- (5) 公益区分の変更を内閣府に申請・認定
- (6) 勤怠管理システムと連動して給与計算システムの導入
- (7) 科学技術館第二期耐震改修工事の進め方の検討
- (8) 各種会議のリモート化を推進

－ 以 上 －